

奈良県議会議員

# 植村よしふみ

# 議会活動報告

発行/植村佳史事務所 〒630-8144 奈良市東九条町106 TEL.0742(63)8881 FAX.0742(63)8882

主張

## 平城京を有する奈良県から世界平和へ

令和4年3月19日に国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 大極門（南門）が完成し式典が開かれた。平城宮が模したとされる唐の都、長安にあった南門の名称を参考にし「大極門」と名付けられた。

さて、1300年前に世界最大の国際都市は唐朝の都「長安」であり、唐の勢力を今に例えると米国と中国を合わせた以上の超大国であったと思われ、そして長安に続く国際都市としては人口20万人と言われている「日本の平城京」であったと考えます。その唐朝において玄宗皇帝の側近として高官にまで出世した奈良県出身の遣唐留学生「阿倍仲

麻呂」は、我が国の発展と安全保障において計り知れない功績を遺されたのではと思ひ同じ県民として誇りに思っています。そして現存する世界最古の国家は第126代の天皇陛下を戴く日本国であり、その内の第50代桓武天皇迄は奈良県で即位されておられます。その事からも平城京を有する奈良県は日本人の平和を愛する国民性と勤勉



復元された「大極門（南門）」の完成披露式（平城宮跡）3月19日

性を世界中に知って頂く重要な責務があると思っております。今、私たちは奈良新「都」づくり戦略2022」の中で、15年後の開通が近づいてきた県勢発展に欠かせないリニア中央新幹線奈良市付近駅を機にした賑わいの拠点づくりとして、平城宮跡歴史公園の整備に取り組んでおります。悠久の歴史が証明する奈良県だからこそ観光を通して世界の平和に貢献できると思ひ、県民が誇りをもつて安心して暮らせる街づくりには、私は奮励努力をいたす所存です。今後とも忌憚のない「声」をお聞かせいただけますようお願い申し上げます。

## 「5歳から11歳の子供へのワクチン接種は丁寧な説明を」

3月10日厚生委員会

質問 後藤厚労大臣は2月9日衆議院予算委員会で5歳～11歳へのワクチン接種の有効性について「オミクロン株については5歳か11歳の直接のデータは現時点では存在していない」と答弁されました。

5歳から11歳までのワクチン接種は、12歳以上の方へのワクチン接種とは異なり、「努力義務」とされていない。

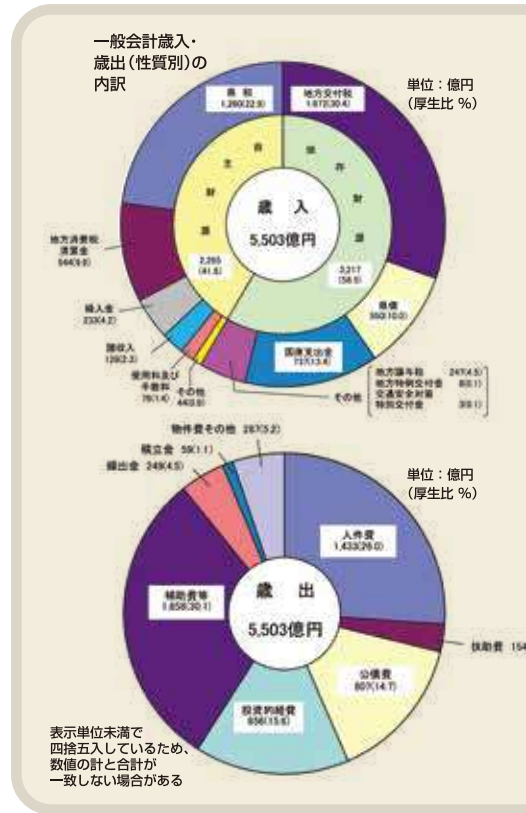
また、5歳から11歳までの子どもに関しては、新型コロナウイルス感染症によって重症化し事例や死亡した事例は国内では報告されていないが、米国で実施された5歳から11歳の男性に対する副反応の解析結果によると、2回目接種時に心筋炎があると報告されている。

一方、厚労省はインフルエンザワクチンで健康被害補償認定されたのは、1977年～2019年の42年間の総数で177件と公表。それに比較してコロナワクチン健康被害認定は現時点（約1年）で認定566件と大きく上回っている。このようなワクチンの種類別健康被害のリスク対比についても丁寧に説明するべきではないか？

いくと共に厚労省公表の「新型コロナウイルスワクチン接種健康被害認定者数」を奈良県ホームページにリンクを貼るなど丁寧な説明を進めて行きます。

## 令和4年度 予算審査特別委員会審査報告

予算委員会（植村含む）に付託された24議案を3月14日～22日の間で審査。知事は今後の奈良県発展の屋台骨となるプロジェクトの「奈良新「都」づくり戦略2022」を基軸として令和4年度一般会計当初予算案を総額5503億円（前年度比136億円（2.5%）増）と、道路・河川の防災・減災対策、新型コロナウイルス感染症対策にかかると、医療機関への補助金の増額や、国交付金を活用した感染症対応中小企業金融支援基金への積み立てを行う等の令和3年度補正予算額544億円余を提案され、積極果敢な諸施策を審査した結果、賛成多数で可決しました。



県が作成した小児用コロナワクチンのリスクとベネフィットに関するリーフレットを市町村が郵送 3月22日

聞かせてください。あなたの声を！

植村よしふみ ホームページ <http://www4.kcn.ne.jp/~krs>

(いわゆる所謂)

# 新型コロナ ワクチン後遺症の相談窓口設置について

【2月】定例議会

3月10日厚生委員会質問

質問 新型コロナワクチン

接種後の長期にわたる健康被害を「ワクチン後遺症」と言われています。ワクチン接種後に寝たきり、心臓痛、胸痛、手足のしびれ、頭痛、めまい、動悸、息切れ、歩行困難、倦怠感などが長期にわたり続いている重篤な副反応であり、私共にも重篤な副反応に苦しむ方々

からの相談が寄せられています。先日も奈良市の小学生の保護者から相談があり9月に県文化会館でのワクチン1回目接種後2週間目に強烈な倦怠感と手足のしびれと歩行困難になり4軒の病院を受診するも原因不明で、半年後の今も小学校に登校困難な状態です。また生駒市在住の40代の女性も、同様の症状や生理周期の乱れ、身に覚えのない内出血が足に数ヶ所できるなど、強烈な倦怠感に通常の生活ができずに今も苦しんでおられます。そこで質問します。1点目に全国と奈良県内のワクチン接種後長期の健康被害救済制度の認

定状況を問う、2点目に所謂ワクチン後遺症の相談窓口の設置についてのお考えをお聞かせください。

**答弁** ワクチン接種推進室長

厚生省は2月24日の時点での受理件数は全国1084件で奈良県は12件、そのうち認定は566件で奈良県の認定は6件です。又相談窓口としては副反応コール

センターで対応してきたが、事例や相談者に寄り添った相談体制や医療機関への情報共有と連携を高めて行きます。

**要望** 植村

大阪府泉大津市や名古屋市の「ワクチン相談窓口」を設置されておりますので奈良県でも早急に体制の整備を要望します。

新型コロナウィルスワクチンの接種後に健康被害を訴えた県内の6人について、予防接種法に基づき接種して、厚生労働省の審査分科で健康被害があれば、国が会が接種と健康被害との因果関係を補償する「予防接種後の健康被害」

**ワクチン接種後の健康被害**

因果関係を認定し、予防接種の健康被害救済制度に基づき医療費などの支給がある。県によると、新法を定めたことが分かった。10日の県議会厚生委員会で、植村佳史議員(自民)の12人が市町村を通じて

制度に申請し、2月24日までに6人について審査分科会が因果関係を認定した。県によると、2月24日までに全国で1084人が申請し、566人が認定された。認定された人の健康被害で最も多いのは、重い副反応の一つで、アレルギー反応「アナフィラキシー」だという。(久保地)

県内6人  
厚生省 因果関係認定

毎日新聞奈良 令和4年3月11日

## 【3月予算審査特別委員会】令和4年3月17日(木)

# 県域水道一体化について

質問の概略

3年8月の県域一体化の準備協議会に加入しましたが、ここに来て今年1月21日の協議会関連会議を途中退席して以降は開催された4回の関係会議を全て欠席されています。今後は準備協議会(26市町村)と奈良市の考えの相違を改善して頂くためにも、まずは奈良市には協議会の会議には参加をして頂きたいと思うと共に奈良県には今後も引き続き真摯な対応を求めました。

『奈良の水道を守る』



各市町村の水道利用代金は人口減少による売上の減少と老朽化施設の改修費用の増大により今後は価格が上がりまます。そこで奈良県は27市町村の水道局を一体化して急激な水道料金の値上げを防ぐと共に、地震等の災害から老朽化した施設を守る為に、国からの支援を得て早期の改修計画を平成29年10月より検討してきました。しかし奈良市は令和

## 【令和4年3月予算審査特別委員会】その他の質問概略

- 不足する自衛官の募集にかかる対象者情報の提供を自治体に要望していたがその結果は?  
答=10市町村から16市町村体が増加した。
- 古事記編纂者「太安万侶」の墓の整備・活用の要望を田原地区より頂いているが今後の見通しは?  
答=今後の整備方針検討に4年度は400万円を予算化します。
- 富雄中町「道の駅」の見通しと地域との連携を問う。  
答=4年度は秋頃に造成完了、その後建設工事。地域住民からの要望等は自治会で纏めて県に頂く。
- サイクリングルート(世界遺産周遊サイクリングルート)の自転車周遊環境整備事業予算3億2千万の推進状況を問う。  
答=自転車通行空間の整備とルート整備をする事で観光振興や地域活性化を目指している。
- 奈良公園の浮見堂の鷺池の水質改善・土砂流入の改善対策について問う。  
答=約70cmの泥が溜まっており泥の撤去と抜本的な水質改善を約2年をかけて改修工事を行います。

## 令和3年度意見書・決議

奈良県議会が地方自治法第99条の規定により意見書を可決し政府に提出しました。

- 意見書第9号**  
中国によるウイグル人権侵害問題に対し日本政府に必要な措置を求める意見書(提案者:植村) 令和3年10月21日
- 決議第2号**  
北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解促進の取組を推進する決議(提案者:植村) 令和3年12月15日
- 決議第1号**  
ロシアによるウクライナへの即時の攻撃停止とロシア軍の完全撤退を強く求める(全会一致) 令和4年3月4日



ワクチン後遺症の相談を受ける。昨年の7月に新型コロナワクチン接種直後にひどい帯状疱疹が身体全身に次々に発症し奈良県内複数の医療機関を受診され「ワクチン接種の副反応を疑うが原因不明」と診断され長期に渡り健康被害に苦しむ50代女性から相談を受ける

## 新型コロナワクチン接種後 副反応相談窓口コールセンター

◆TEL: 0120-919-003 ◆FAX: 0742-36-6105 ◆メール/nara-vaccine@bsec.jp  
◆時間/24時間対応(平日、土日祝)  
◆ホームページ/https://www.pref.nara.jp/58099.htm

## 上記の副反応コールセンターでの対応状況や疑問についてのご相談は、

◆奈良県議会議員 植村佳史事務所にお電話を下さい、可能な限り対応をさせていただきます。  
◆電話/0742-63-8881 ◆平日/9時~17時 ◆メール/krs@m4.kcn.ne.jp

## プロフィール

**植村 佳史** (うえむら よしふみ)

- 選挙区/奈良市・山辺郡(定数11名)
- 当選回数/1回
- 所属党派/自由民主党
- 所属委員会/厚生委員会

総合防災対策特別委員会  
議会運営委員会

- 連絡先/〒630-8144 奈良市東九条町106番地
- 電話番号/0742-63-8881
- E-mail/krs@m4.kcn.ne.jp